



現在、慢性腎不全には人工透析と移植以外に治療がありません。この厳しい現実を学ぶため、病棟、外来、手術を見学します。生徒を受け入れるのは幹細胞を使い腎臓再生を目指す医療チーム。末期の腎不全の患者さんを救うため臨床と研究に取り組む医師らと行動をともにします。

東京慈恵会医科大学附属で 先端医療を学ぶ6日間

医学部受験の前に、「なぜ、医師になりたいのか」「なぜ、医療に携わりたいのか」をこの夏休み、改めて考えてみませんか？ 探求心と行動力、そして熱意のある高校生を募集します。

期間 ● 8月21日(日)～26日(金)

募集 ● 高校2年生以上、2名

※NPO法人の学校会員校生徒が対象です

参加費 ● 一人50,000円

※旅費交通費、宿泊費、食費、感染症対策費は自己負担

申込 ● 学校送付の申込書からお申し込みください

応募多数は抽選。抽選に漏れた生徒には2023年以降の医療体験学習をご案内します。

【感染症対策のお願い】

① 臨床実習の医学生と同等の下記の感染症対策が求められます。

- ・ワクチン接種3回
- ・2週間前から行動記録と健康観察
- ・2週間前から参加生徒と同居家族は会食禁止
- ・直前にPCR検査を受け、陰性証明を提出

② 期間中は公共交通機関を使えないため、病院の近隣施設に宿泊します。

③ 21日(日)に病院に集合し、改めて新型コロナウイルス陰性を確認する予定です。

④ 陰性を確認後、翌22日から医療体験学習が本格的にスタートします。

※詳細はNPO法人がご案内します。

【取材協力をお願い】 体験学習の様子はNPO法人スタッフが動画等で取材をして、ウェブサイト等で紹介する予定です。取材協力をお願いします。

横尾 隆 東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科教授 / 副学長メッセージ

私が腎臓内科を志したのは研修医時代、30年も前のことです。生まれながらに人工透析を続ける小学生を担当し、なんとか助けてあげたいと懸命に加療しましたが、残念ながらお亡くなりになりました。このとき、現行の医療の限界を感じ、次世代の新規治療法を作ろうと腎臓再生研究を開始したのが私の原点だと言えます。

今、診療を続けながら研究に打ち込んでいますが、壁にぶつかることは日常茶飯事。それでも前を向くのは、「患者さんを救いたい」という強いパッションがあるからです。決して、諦めません。

高校生の皆さんにとって、東京慈恵会医科大学附属病院には多くの発見と学びがあるでしょう。ぜひ、医師の一人ひとりが胸に持つパッションにも注目してほしいと思います。ひと夏の体験が皆さんの小さな“原点”になればと考えています。

【横尾隆教授の略歴】

1991年、東京慈恵会医科大学卒。University College London 医科大学留学などを経て2013年より腎臓・高血圧内科主任教授。末期腎不全の患者さんに直接届く新規治療法の開発を目標に、腎臓再生医療の確立と実用化に挑む。高校で夢になったのは剣道。現在はジョギングでストレス解消、フルマラソン自己ベスト3時間48分。



【主催】NPO法人(予定) Touchthe Future(未来の医療人の志育成を目指し、医師や教師らが設立) 【共催】東京慈恵会医科大学附属病院

【問い合わせ】info2022ttf@gmail.com